

令和7年度 ワークスとおがさ地域連携推進会議 会議録

- 1 日 時 令和7年9月9日（火） 14時00分～16時00分
- 2 場 所 社会福祉法人あしたか太陽の丘本館4階大会議室、ワークスとおがさ
- 3 出席者 5名 地域の関係者等、利用者代表、利用者の家族代表、施設長、 施設長代理

4 会議等経過

(1) 事業報告

施設長が事業報告書及び別添資料を基に、内容を報告する。

(2) 施設見学

居住棟及び作業場を見学する。

5 質疑応答、要望等

【事業報告関係】

- 利用者家族代表 今年度の陶芸展はいつ開催されるのか。昨年度は、聞いた時には既に終わっていた。
- 施設長代理 11月14日（金）～16日（土）で行う。毎年、会場の予約を取れるのが8月1日になるため、日程のお知らせが11月送付の施設だより（3月毎に発行）になってしまいう。それ以前に日程を確認したい場合は、問い合わせいただければお知らせできる。
- 施設長 利用者の方も自分が作った作品をご家族や地域の方に見てもらえることは励みになる。また、創作意欲の向上につながるため、ぜひとも来場いただければと思う。

【施設見学関係】

- 地域関係者 利用者支援において、手厚い支援をするためには国の示す人数では足りないのではないかと感じた。
- 支援に慣れた方や経験豊富な職員だけではなく、若い方に積極的に働いてくれる方策があるとよい。
- 高齢の方が一部利用していた。そうした方の今後を考えた時にどのような対応が必要なのかを見据えていただきたい。
- 利用者家族代表 高齢の方は、将来的にどのようなになっていくのか。
- 施設長 65歳を超えた段階で新規の障害福祉サービスは利用できないが、それまでに利用していたサービスについては高齢になっても継続して利用できる。高齢化による身体機能の低下で当施設での生活が難しくなった場合や医療的ケアが必要になった場合は、介護保険や医療系のサービスへ移行することがある。

利用者家族代表 生産活動では色々な企業からの受注作業があったが、作業上のノルマはあるのか。

施設長 作業におけるノルマはない。身体障害のある方が多く作業する関係上、納期にゆとりのある作業をもらうようしている。

利用者代表 作業の納期は比較的余裕があるので、その点は気が楽である。ただし、不良を出すことはできないので丁寧な作業が求められる。

利用者家族代表 生産活動は、希望者が参加しているのか。

施設長 約6割の利用者が生産活動に参加しているが、参加は本人の希望による。
ただし、受注作業として企業の求める製品基準を満たさなければならないため、作業内容については本人がやりたい作業よりも、本人ができる作業を提供する形となる。

施設長 施設に対するご意見、ご要望はあるか。

利用者家族代表 2～3か月に1回の割合で定期的に施設へ面会に訪れているが、どの職員も丁寧に親切に対応してもらっている。特に要望はない。

利用者代表 施設の生活では、一般浴の入浴時間、作業の出欠席、平日の外出などを自分のペースに合わせてやらせてもらっている。月に3～4回外出しているが、土・日曜日はらぼーと沼津ができてから帰りのバスが混むので、平日に作業を休んで外出できることはありがたい。今のところ要望はない。

以上